

# 浜名湖の環境を調査する体験学習会(浜名湖の水をきれいにする会)

- 実施日 令和4年10月8日(土) ※申込・抽選で当選した44名の親子
- 場所 今切パーク、ごみ調査/新居弁天海水浴場、湖上探検/表浜名湖・いかり瀬(船)
- ①プラスチックごみ調査・学習会

- ・湖岸に漂着した“ごみ”の回収、分類して集計(グループ別)
- ・湖岸の砂やごみの中から“マイクロプラスチックごみ”を探す(グループ別)



海岸に漂着したごみを回収



マイクロプラスチックごみを探す



多くのことを体験しました

## ②浜名湖の水環境探検・生きもの観察会

海湖館前の棧橋から遊船に乗って、湖上から太平洋と浜名湖の境界(今切口)の景色を堪能し、牡蠣養殖の牡蠣棚を見学しました。いかり瀬に上陸して生きもの観察、のり養殖の現場で温暖化による浜名湖の環境や漁業への影響などを学びました。

参加者は、環境への関心が高い人が多く、ごみ、環境、生態系などに関して熱心に学んで体験しました。



湖上体験・牡蠣棚見学

# 表浜名湖まるごと体験SDGsツーリズム(舞阪町観光協会 ほか)

令和4年度観光庁の補助事業に採択されて、舞阪町観光協会が表浜名湖の「漁業」×「環境」×「街道文化」と「観光」を結びつける新しい観光商品づくりに取り組み始めました。はまなご環境ネットワークもこのプロジェクトに連携団体として参画しております。

観光客が浜名湖の漁業や環境の現状や課題を学び、体験することを観光商品化して、SDGsの推進を目的とした継続的な取組を目指しています。



伝統漁法「角立て網漁」の実演

参加者はサイクリングやウォーキングで地域を巡り、遊船を使った漁業の現場や加工所の見学や、海産物の買い物ツアーのほか、食害対策のクロダイ釣りの体験、弁天島のいかり瀬で生きもの観察などのモニターツアーに取り組んでいました。

表浜名湖まるごと体験 SDGs ツーリズム 募集

自然と人の笑顔と歴史ある表浜名湖。湖内諸島の景観として環境豊かな島(今切、うなぎ、うっぱん、あさり、海産、タムゴ、社通、ドワンゴなど)が埋め尽くされた島です。このツアーでは、浜名湖の漁業や環境、街道文化(船通、風鈴、今切の渡し)に関する学びを体験していただきます。

MAHAMARA CYCLING AND LAKE EXCURSION  
舞阪サイクリング&湖上遊覧  
ツアー日: 10/28(土)・11/04(土)  
集合時間: 8時30分 終了予定: 15時  
参加費: ツアー参加費(1名) 2,500円(税込)  
お申し込み: 舞阪町観光協会

ARAKI CYCLING AND LAKE EXCURSION  
新居サイクリング&湖上遊覧  
ツアー日: 10/23(土)  
集合時間: 8時30分 終了予定: 15時  
参加費: ツアー参加費(1名) 2,500円(税込)  
お申し込み: 舞阪町観光協会

MAHAMARA AND ARAKI WALKING  
舞阪・新居ウォーキングコース  
ツアー日: 10/28(土)・11/13(日)・10/19(土)  
集合時間: 8時 終了予定: 15時  
参加費: ツアー参加費(1名) 2,500円(税込)  
お申し込み: 舞阪町観光協会

MAHAMARA STAY  
表浜名湖まるごと体験宿泊コース  
ツアー日: 11/19(土)・11/14(日)  
集合時間: 10時 終了予定: 16時30分  
参加費: ツアー参加費(1名) 4,000円(税込) ツアー参加費(1名) 2,500円(税込)  
お申し込み: 舞阪町観光協会

浜小瀬カフェ  
浜小瀬カフェ  
浜小瀬カフェ  
お申し込み: 舞阪町観光協会

浜小瀬マシテ  
浜小瀬マシテ  
お申し込み: 舞阪町観光協会

舞阪町観光協会 TEL: 053-592-0757 FAX: 053-592-0758

申込QR  
舞阪町観光協会  
舞阪町観光協会  
舞阪町観光協会

<https://www.bentenjima.net/sdgs/>

実施主体: 舞阪町観光協会  
住所: 浜松市西区舞阪町弁天島3775-2 電話: 053-592-0757 E-mail: maisaka@bentenjima.jp

# 浜名湖環境保全団体情報誌 第38号 はまなご環境通信

発行/静岡県(はまなご環境ネットワーク)  
発行日/令和5年1月31日  
事務局/NPO法人地域づくりサポートネット  
浜松市中区常盤町133-13  
TEL 053-458-3480  
Eメール info@shizuoka-t.net



## 浜名湖環境活動団体意見交換会を開催

- 日時 令和4年11月23日(水・祝) 10:00~12:00
- 場所 地球のたまご・カフェテリア(OMソーラー(株)社屋)
- 内容 (1)話題提供「生物多様性地域戦略(中間見直し)」ほか  
(2)リレートーク  
(3)意見交換会「浜名湖の環境と生物多様性」



### ■話題提供①:「生物多様性地域戦略(中間見直し)」

静岡県が平成30年3月に策定した「ふじのくに生物多様性地域戦略」について中間見直しを行っています。静岡県自然保護課が社会情勢を踏まえた計画等の更新作業をしており、計画内容について環境保全活動団体などに話題提供しました。

浜名湖の現状や具体的な取組などについても、現計画を紹介し、今回の中間見直しでは、「外来植物の除去対策」などを追記します。

第4節 浜名湖

浜名湖は淡水と海水が入り混じった汽水の環境であるほか、干潟、藻場等の多様な環境があります。また、アサリやコホシノナギ等の水産資源を活かした産業も盛んです。

- 干潟、ヨシ原、アマモ場等の環境を保全することが必要であり、その際には埋りをする鳥類の増殖・生息地としての観点も必要です。
- 湖沼や湿地の保全等を図る必要があります。
- 浜名湖への理解と関心を高めるため、意識啓発や環境保全団体のネットワーク化が必要です。
- 田等と連携し、資源保護に配慮したウナギ養殖への転換を進めるほか、観ウナギの放流等地域の取組を継続する必要があります。
- ツメタガリの駆除のほか、種間放流を目的とした天然採苗等のアサリ保護活動を継続する必要があります。
- 近年、アカエイが湖内で増加しており、その実態調査や対策の検討を行う必要があります。
- 浜名湖への理解と関心を高めるため、意識啓発や環境保全団体のネットワーク化が必要です。

ふじのくに生物多様性地域戦略より

### ■話題提供②:「外来植物対策の活動」

浜名湖の外来植物対策の活動として、10月2日に弁天島のいかり瀬で「舞坂の自然を守る会」主催により、海浜植物の観察と外来植物の抜き取り作業が開催されました。浜松市・湖西市にある高校の生徒等が参加して実施されました。

静岡県では外来植物の分布状況を調査し、その結果を多くの方に知っていただき、地域の方々による活動の輪が広がるようにしていきます。



高校生等も参加した外来植物の駆除活動

### ■リレートーク・意見交換会

参加団体からそれぞれの活動を紹介してもらいリレートークを行いました。参加者と意見交換をし、「浜名湖の環境と生物多様性」に関するご意見をいただきました。

【主なご意見】

- ・浜名湖の環境を知る上で特徴的なスポットはいかり瀬
- ・外来生物もあるが、外来植物の方が行動に移しやすい
- ・外来植物がなぜ悪いか?説明できる資料が必要
- ・在来種であるアマモ場の保全も大切である
- ・行政だけではできないので、県民や企業の参加が大切である
- ・情報発信を行い、知る機会を増やそう!



※県民の皆様からのご意見は2月中旬から3月上旬にパブリックコメント聴取予定。

浜名湖の環境と生物多様性についての意見交換



## 団体紹介:EM倶楽部／湖西

### ■主な活動

EM倶楽部／湖西は、地域を流れる「浜名川」の水質を守るために発足した団体です。EM菌が水質浄化に効果があると知り、今から20年ほど前から市民による「浜名川」の水質浄化活動としてEM菌を練り込んだ泥ダンゴ「EMダンゴ」を作って、年3～4回ほど浜名川に投下する活動を行っています（以前は毎月投下）。

現在は、泥ダンゴの材料となる土の確保が難しくなり、米のとぎ汁などをEM菌で発酵・培養した「EM活性液」を川に投下して水質浄化活動を継続しています。水の流れが少ないヘドロ化した浜名川は、長年の活動によって環境が改善されていると言われています。

また、米のとぎ汁による「EM活性液」は学校のプールなどにも入れて、微生物が分解してプールの清掃作業の省力化にも役立っています。

さらに、EM菌で米ヌカとモミなどを発酵させた「EMぼかし」により家庭の生ごみを肥料としてリサイクルし、同倶楽部が湖西市新居で運営する市民農園（21区画）のたい肥として無料配布して活用してもらっています。EM菌を活用する活動が、ごみの減量化にも貢献するため、熱心に活動しています。

### ■SDGsにつながる取組

最近では、SDGsの推進を目的とした環境活動などを頻繁に耳にしますが、倶楽部のメンバーも地域がよくなること、環境が改善されて暮らしやすい町になることを願って活動してきました。

コロナ禍で活動を中止・縮小し、活動を広くPRする機会も少なくなった中で、令和4年7月「浜名湖ミナトリング」の会場で体験・展示ブースに出展し、活動をPRしました。PRを聞いていた湖西市内の学校関係者から、子どもたちへの環境学習の授業に来てほしいとお誘いがありました。

情報を発信することの重要性を改めて感じたことでした。アマモをEMぼかしと混ぜて、たい肥にする商品開発をしたいという計画があり、アマモを回収するボランティアを求めています。

### ■団体の抱える課題

- ① メンバーの高齢化により年々活動に参加できる人が減少
- ② モチベーションの低下（コロナ禍で活動が減少）

毎年はまなこ環境ネットワークが開催する交流会などに積極的に参加し、活動のヒントや連携のきっかけを見つけたいと考えています。

湖西市役所とは環境に関して連携していますが、学校は担当されていた先生が異動すると関係再構築に手間がかかることが課題となっています。

参加する人材不足については、企業との連携による課題解決も1つの方法ですが、どのようにすればよいのか具体的なイメージもわからないので、アドバイスしてほしいとのことでした。

### EM倶楽部／湖西 事務局

住所 湖西市新居町新居137-2 電話 090-2136-5925 E-mail kian@amber.plala.or.jp



EM菌の泥ダンゴ作り



米とぎ汁をEM菌で発酵させたEM活性液



EM活性液を浜名川に投下



浜名湖のイベント会場で活動をPR

## 団体紹介:浜名っ娘クラブ

### ■主な活動

浜名っ娘クラブは、漁師の奥さんたちのグループで、女性も漁業をPRするために何か役にたちたいと考え、今から12年ほど前に浜名漁業協同組合の有志が7～8名集まって発足しました。

豊かな浜名湖の漁業資源を活かして、海苔やシラスを使った手作りコロッケなどを販売するのが主な活動です。

毎月第4日曜日に浜松市南区の白脇ファーマーズマーケットに出店しています。その他、浜松・浜名湖で開催される様々なイベントに出店して、浜名湖の海苔やシラスをPRしながらコロッケ、天ぷら、つくだ煮、シラスご飯などの販売を行っています。その他に雄踏の「よらっせ YUTO」や浜松の中心市街地にあるザザシティ浜松中央館1階でも販売しております。

いろいろな方々と知り合っ、おかげ様で竜ヶ岩洞をはじめ、様々な施設から声がかかり、海苔やシラスのコロッケなどの販売を通じてメンバーが楽しみながら活動しております。

今年はシラスが不漁で、海苔もクロダイなどの食害で苦しい状況です。海の環境が大きく影響するため、資源が豊かな浜名湖であり続けることが関係者の願いで、環境団体の方々とも交流しています。高齢化が進み、なかなか活動を拡大できない状況ですが、楽しみながら活動していくことを意識しています。

### ■団体の抱える課題

- ① 高齢化により新しいことへ挑戦が困難
- ② 新しいことへの対応（インボイス制度など）

浜名っ娘クラブは12年前に設立してメンバーがそのまま年を重ねており、高齢化しているため、新しいことへの対応が難しい場合があります。例えば、商品を販売しているので令和5年10月スタートするインボイス制度の事業者登録を求められていますが、その対応が難しいので悩んでいます。

令和4年度舞阪町観光協会が、「表浜名湖まるごと体験SDGsツーリズム」という取組を始めており、漁業関係者や環境団体と観光業界が連携した新しい観光商品づくりの一環で令和4年12月から令和5年1月まで弁天島海浜公園で浜名湖の幸を販売する「浜小屋マルシェ」が開催されました。クラブはそこにも出店し、多くの人たちに知ってもらう機会を得ることができました。

海浜公園では、賑わい創出のため地域の事業者や団体によるマルシェ・朝市を継続的に実施していくようで、クラブも自分たちでできることを観光業界と連携していき、クラブの活動が活発になればと思っていますとのことでした。

浜名っ娘クラブの代表を務める天野さんの家庭も漁師一家です。クラブの活動も引退を考えたこともあるそうですが、お孫さんが漁師を継いだことで、お孫さんを支えることを決意し、まだまだ浜名っ娘クラブとして頑張っていきたいと考えているそうです。

### 浜名っ娘クラブ 事務局

住所 浜松市西区舞阪町弁天島2668-294 電話 053-592-1821



イベントへの出店依頼も多い



浜小屋マルシェのイベントに出店